

第三セクター等経営健全化方針【 鹿児島県 肝付町 】

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等との関係を有する肝付町が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	平成31年3月29日
作成担当部署	肝付町企画調整課

2. 第三セクター等の概要

法人名	おおすみ半島スマートエネルギー株式会社
代表者名	代表取締役 磯部 達
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町新富98番地
設立年月日	平成29年1月5日
資本金	5,000千円【肝付町の出資額：3,350千円（出資割合：67%）】
業務内容	小売電気事業 他

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社は、平成29年1月5日付けで設立されました。

第1期（平成29年1月5日～平成29年3月31日）は、未稼働会社としての決算であり平成29年4月1日から稼働しています。

第2期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）は、育成支援並びに基盤づくりの期間と位置づけ、みやまスマートエネルギー株式会社の取次店として事業展開を行いました。当期純損失が7,526,051円となりました。

第3期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）は、5月から小売電気事業者として本格的な事業展開を開始することで収益率が改善され、9月以降の単月収支黒字化を実現するとともに12月末時点における債務超過の解消が実現しています。さらに、現時点で未確定の第4四半期においては、単年度収支黒字化と併せて累積赤字解消まで期待できる経営状況を見込んでおり、財政的なリスクは軽微なものであると認識しています。

町では、おおすみ半島スマートエネルギー株式会社の稼働以降、会社役員と首長を含めた自治体職員との定例会議を設けており、毎月の目標や実績等の報告等を受けることにより常に経営状況を注視しています。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

第3期（平成30年度）において小売電気事業者として本格的な事業展開を開始することで採算性への課題が大きく改善しており、経営努力を行いつつ引き続き第三セクターで事業を実施することを確認しています。

5. 抜本的改革を含む経営健全化の具体的な対応

事業計画に基づく概ね順調な経営状況が確認されているが、経費の縮減や小売電気事業外の収益確保に向けた取組みの拡大に努めるとともに、現在、外部委託を行っている需給管理業務の内製化と調達電源の効果的な活用により更なる収益率の向上に取り組みます。併せて、その際には、国等が用意する様々な支援策を活用することでより効果的な経営基盤の強化に努めます。

6. 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	資産総額	5,000	24,090	
	（うち現預金）	(5,000)	(21,830)	
	（うち売上債権）	(0)	(1,544)	
	（うちその他資産）	(0)	(716)	
	負債総額	0	26,616	
	（うち肝付町からの借入金）	(0)	(0)	
	純資産総額	5,000	△2,526	

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	経常収益	0	8,126	
	経常費用	0	17,596	
	経常損益	0	9,470	
	経常外収益	0	2,236	
	経常外費用	0	221	
	法人税等	0	71	
	当期純利益	0	△7,526	